

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能 知識・技能の不十分な生徒（達成率が50%未満）は、19名(約18%)であった。重要なキーワードや内容を理解した上でそれを定着させていくことに課題が残る生徒がみられた。</p> <p>2 思考・判断・表現 思考・判断・表現が不十分な生徒（達成率が50%未満）は、37名(約35%)であった。正しい情報が何かを判断する力や複数の資料から答えを導き出す考える力に課題が残る生徒が顕著であった。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に学習に取り組む態度が不十分な生徒(達成率50%未満)は20名(約19%)であった。単元のテーマに対して主体的に考える習慣をもつことに課題が残る生徒がみられた。</p>	<p>1 知識・技能 <u>重要なキーワードや内容については授業中に強調し、メモをとるなどの習慣を身に付けさせていく。また、生徒同士でアウトプットする活動を通して知識を定着させていく。</u> <u>図やグラフから読み取ったことがらを文章化する課題を授業内で扱うようにする。</u></p> <p>2 思考・判断・表現 物事を関連付けて考える習慣を身に付けさせるとともに<u>生徒同士で考えを共有する機会をもつようにする。</u>また、時事的な内容と授業内容を関連するように意識的に準備していく。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 単元のテーマについて積み重ねながら主体的に考える習慣をもたせるよう発問等に工夫を重ねる。また、<u>生徒同士で気軽に議論できる環境を整えていく。</u></p>